



きっずる一むだより

第 52 号
令和 7 年 2 月 10 日発行
社会福祉法人ゆうゆう
きっずる一む県庁別館



乾燥が気になる時期になりました。風邪やインフルエンザ予防に配慮しながら過ごしていきたいと思えます。

新しい年を迎え、きっずる一むでは「おせち食べた!」「おもち食べた!」などと言う声が聞こえてきて家庭で楽しい冬休みを過ごしたようです。

2月はお豆を食べたり、チョコを食べたりとイベントが盛り沢山ですね。この時期ならではの遊びを取り入れて、こどもたちと楽しんでいきたいと思えます。

自立心の育ち



鼻水が出るといつも保育者がティッシュで拭いていた A ちゃん(2歳3ヶ月)。

この日は「自分で拭いてみる?」と聞くと頷いて、鏡を見ながら上手に鼻水を拭いていました。鏡を見て鼻水が取れていないことが分るともう一度ティッシュで拭いていた A ちゃんでした。

A ちゃんから見る発達

自立心の元となる「自我」が芽生えるのはおおむね2歳頃と言われています。その後、「自分でやってみたい」という自立心が出てくる時期でもあります。

A ちゃんの保護者から「最近、何でも自分でやりたがるようになってきました。」と話があったため、保育者は A ちゃんに「自分で拭いてみる?」と声をかけてみました。

こどもの自立心が育つ時期には大人が全て決定するのではなく子どもが選択できるような声掛けが大切になってきます。

これからも、こどもの「やってみたい」と思う気持ちを受け止め、のびのびと過ごせるようにしていきたいと思えます。

きっずる一むでは最近、こどもが「せんせー!」と言えるようになったり、ハイハイをしていた子が歩けるようになったりと一人ひとりの成長が見られます。そうした、こどもの成長を保護者と一緒に喜び、こどもも保護者も安心できる場所を目指していきたいと思えます。